



平成26年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年3月5日

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所 東
 コード番号 2438 URL http://www.asukanet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第3四半期の業績(平成25年5月1日～平成26年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第3四半期	3,538	4.8	581	16.3	585	16.1	358	16.4
25年4月期第3四半期	3,375	0.2	500	△19.4	504	△18.8	308	△12.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年4月期第3四半期	85.68		84.95					
25年4月期第3四半期	73.62		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第3四半期	4,052	3,598	88.7
25年4月期	3,967	3,363	84.8

(参考) 自己資本 26年4月期第3四半期 3,594百万円 25年4月期 3,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	29.00	29.00
26年4月期	—	0.00	—		
26年4月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,883	7.7	686	4.5	690	3.9	423	4.0	101.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年4月期3Q	4,366,000株	25年4月期	4,366,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

26年4月期3Q	179,527株	25年4月期	179,527株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年4月期3Q	4,186,473株	25年4月期3Q	4,186,565株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や金融政策の効果などにより円安や株高が進み、まだ不透明感は拭えないものの、企業収益の改善や個人消費の持ち直しの動きが見られ、景気は回復傾向にあります。

このような状況の下、メモリアルデザインサービス事業やパーソナルパブリッシングサービス事業では新サービスや新製品のリリースを積極的に行い、エアリアルイメージング事業ではマーケティングを行うとともに量産技術研究に重点的に取り組んでまいりました。あわせて、新しいサービスの開発も進めてまいりました。

セグメント別の概況を示すと、次のとおりであります。

① メモリアルデザインサービス事業

当事業におきましては、堅調な新規顧客獲得による遺影写真加工収入の増加に加え、葬儀演出関連ツールの売上も増加いたしました。また、ペーパー、インク、額などの消耗品やハード機器の売上も順調に推移しました。

平成25年10月に、これまで以上に強固な遺影写真供給体制を確立するため、びわこオペレーションセンターを設立しました。その設立に伴い先行費用が発生したものの、安定的な運用に寄与しております。

その結果、売上高は1,632,735千円(前年同四半期比105.3%)、セグメント利益は537,072千円(前年同四半期比101.3%)となりました。

② パーソナルパブリッシングサービス事業

当事業におきましては、プロフェッショナル写真市場向けには、前期にリリースし主力製品となりました「ZENレイフラット」や当期にリリースした新製品「オンデマウント」「URUSHI」などの拡販に重点的に取り組みました。一般消費者市場では、簡単に発注できる「おまかせマイブック」や、スマホ向けサービスとして、ポラロイド風アルバム「patapata」を開始し、販売促進してまいりました。また、より簡単にデザイン性の高い写真集が発注できるマイブック向けテンプレートも充実させました。

北米向け売上は契約の見直しにより卸売方式へ変更したため売上が減少したものの、国内プロフェッショナル写真家向け売上、一般消費者向け売上とも順調に推移いたしました。また、AR(拡張現実)技術を用いたサービスの売上も計上されました。費用面につきましては、前期に実施した戦略的な広告宣伝費や販売促進費が通常ベースに戻り、海外向け経費も減少いたしました。

その結果、売上高は1,885,011千円(前年同四半期比104.1%)、セグメント利益は395,974千円(前年同四半期比136.9%)となりました。

③ エアリアルイメージング事業

当事業におきましては、平成25年10月に出席したCEATECでキーテクノロジー部門準グランプリを受賞したこともあり、多方面から問い合わせや引き合いを頂戴し、デモや試作品の提供を行っております。また、生産面につきましては、従来と比べ、低価格での増産が可能になりましたものの、最大の課題であります低価格化と大量生産を可能にする本格量産技術の確立に向けて研究、試作を重ねております。また、独自技術を強固にするため特許を積極的に申請してまいりました。

その結果、売上高は21,141千円(前年同四半期比152.3%)、セグメント損失は56,416千円(前年同四半期は51,979千円の損失)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,538,888千円(前年同四半期比104.8%)となり、利益面につきましては、エアリアルイメージング事業で研究開発費用や特許関連費用等の先行費用が発生したものの、売上増による粗利益の増加に加え、パーソナルパブリッシングサービス事業において、広告宣伝費、販売促進費などが減少したため、経常利益は585,790千円(前年同四半期比116.1%)、四半期純利益は358,712千円(前年同四半期比116.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ84,330千円増加し、4,052,094千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が93,265千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ150,865千円減少し、453,284千円となりました。これは主に、前事業年度末に固定資産の購入などにより増加した未払金が96,945千円、賞与引当金が51,800千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ235,196千円増加し、3,598,809千円となりました。これは主に、剰余金の配当として121,407千円計上した一方で、四半期純利益を358,712千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年6月10日に発表いたしました平成26年4月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,549,258	1,557,072
受取手形及び売掛金	503,435	596,701
商品及び製品	82,057	86,640
原材料	39,320	41,404
仕掛品	18,592	13,943
その他	80,575	86,410
貸倒引当金	△3,251	△5,130
流動資産合計	2,269,988	2,377,041
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	508,790	486,953
土地	432,702	432,702
その他(純額)	347,541	340,520
有形固定資産合計	1,289,035	1,260,177
無形固定資産	210,946	218,863
投資その他の資産	197,793	196,011
固定資産合計	1,697,775	1,675,052
資産合計	3,967,763	4,052,094
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,567	83,773
未払法人税等	115,400	112,800
賞与引当金	108,200	56,400
その他	277,583	188,530
流動負債合計	586,750	441,504
固定負債		
退職給付引当金	9,996	8,153
その他	7,403	3,626
固定負債合計	17,399	11,779
負債合計	604,150	453,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,380,251	2,617,556
自己株式	△122,635	△122,635
株主資本合計	3,354,501	3,591,805
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,112	2,972
評価・換算差額等合計	9,112	2,972
新株予約権	—	4,031
純資産合計	3,363,613	3,598,809
負債純資産合計	3,967,763	4,052,094

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)
売上高	3,375,427	3,538,888
売上原価	1,615,869	1,714,274
売上総利益	1,759,557	1,824,613
販売費及び一般管理費	1,259,184	1,242,929
営業利益	500,373	581,684
営業外収益		
受取利息	1,263	1,181
受取配当金	584	689
受取手数料	402	436
為替差益	1,534	1,152
その他	1,252	661
営業外収益合計	5,036	4,120
営業外費用		
支払利息	646	14
営業外費用合計	646	14
経常利益	504,763	585,790
特別損失		
固定資産除却損	1,598	1,450
特別損失合計	1,598	1,450
税引前四半期純利益	503,164	584,339
法人税等	194,964	225,627
四半期純利益	308,200	358,712

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成25年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,550,411	1,811,131	13,884	3,375,427	—	3,375,427
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,550,411	1,811,131	13,884	3,375,427	—	3,375,427
セグメント利益又は損失 (△)	530,192	289,299	△51,979	767,512	△267,139	500,373

(注) 1 セグメント利益の調整額△267,139千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,632,735	1,885,011	21,141	3,538,888	—	3,538,888
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,632,735	1,885,011	21,141	3,538,888	—	3,538,888
セグメント利益又は損失 (△)	537,072	395,974	△56,416	876,630	△294,945	581,684

(注) 1 セグメント利益の調整額△294,945千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。